

豊作を祈願して

勇壮に響きわたる

日本一を誇る綴子太太鼓は七月十五日の例大祭に、町内をねり

歩き十六^キ四方に雷鳴を響かせ近郷近在の豊作を祈願しました。

太太鼓祭りは、七百年余りの歴史があり、祭典では出陣行列、

獅子踊、奴おどりなどの伝承芸能で彩りをそえ、産土に対する

深い信仰と意識の高揚に努めたともいわれます。

今年は、子供の獅子踊りも加わりいっそう賑わいをみせました。



人口と世帯数

(住民基本台帳による)

	6月30日現在	(前月比)
総人口	25,477人	(32人増)
男	12,436人	(4人増)
女	13,041人	(28人増)
世帯数	7,185世帯	(6世帯増)

旧施設を全面改良して

綴子簡易水道給水開始

消火活動にも威力を発揮



工事費五億三千五百九十九千円で、昨年の八月から改良工事をすすめておりました綴子簡易水道工事がこのほど完成し、七月から本格的に給水が開始。水不足による給水制限の心配もなく安心して良質の水が給水できます。

綴子簡易水道は、昭和三十三年に綴子財産区によって完成したもので、当町では初めて水道による各戸給水が行われました。その後、長い年月使用されたので、施設の老朽から傷みが激しかったことと、制水弁がないので、ちょっとした事故でも全面断水することから、町では昨年八月より取水、給水施設の全面改良工事に着手。このほど完成し給水が開始されたものです。

完成した綴子簡易水道の給水区

域は岩谷、二本杉、大畑、向黒沢、松原、田子ヶ沢、小田を除いた綴子地区で給水世帯数千三百七十七戸、給水人口四千六百七十九人となっています。

水源は、糠沢川の左岸二十メートル、綴子字田の沢に取水井を設け、地下七メートルからポンプにより取水されています。

着水井、浄水池で塩素滅菌をしてポンプアップ。綴子字上台の配水池（高低差五十一メートル）に貯水されます。

配水池（容量は、三十三年、五十年と今回施設を含めて五百五十七立方メートル。給水貯水能力は九時間分、消火栓は一基一時間分）から自然流下方式により、各家庭に良質の水が給水されることになりました。

送配水管の延長 は約四十一キロメートル

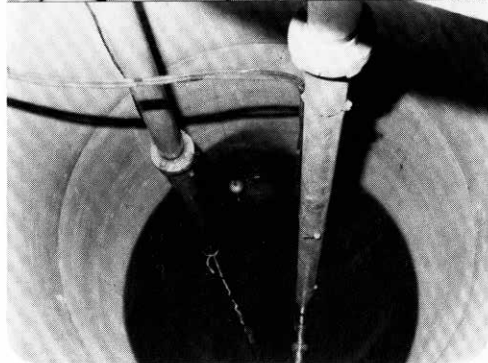
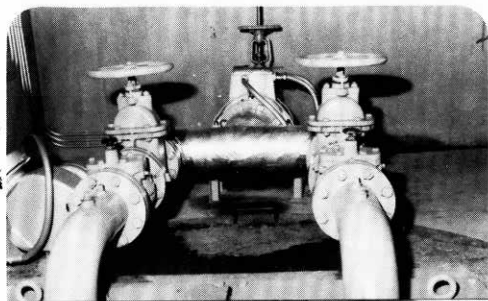
送配水管延長は四万九百八十メートル、内訳は直径十センチの送水管が千四百三十六メートル、直径二センチ二十五センチの配水管が三万九千五百四十四メートルとなっております。

配水管には消火栓を四十二基設置しております。また貯水槽六カ所に給水装置を付けて消火活動にも威力を発揮するように配慮されています。

料金は八立方メートル
まで五百九十円

綴子簡易水道の一日最大給水能力は千四百立方メートル、平均で千三立方メートルとなっております。また、一人一日最大給水量は二百九十九リットル、平均二百二十リットルとなっております。

水道料金は、一カ月の水道使用



▶ 取水ポンプ

▲ 取水井は深さ7 m
直径2 mあります

総工事費は
五億三千万円余

綴子簡易水道工事費は五億三千五百九十九千円。内訳は取水井、取水ポンプなど水源施設に四百二十三万六千円。電気計装、塩素滅菌設備など浄水施設に五千八百五十一万四千円。送水ポンプ、送水管布設に二千二百八十三万。配

料は一般家庭用で八立方メートルまでが基本料五百二十円、メータ使用料七十円、超過料金は一立方メートルにつき七十円となっております。営業用は十立方メートルで七百円、超過一立方メートルにつき八十円となっています。ほかに学校用、工場用、臨時用などと水道使用料を区別しております。



▲昭和の高台にある配水池

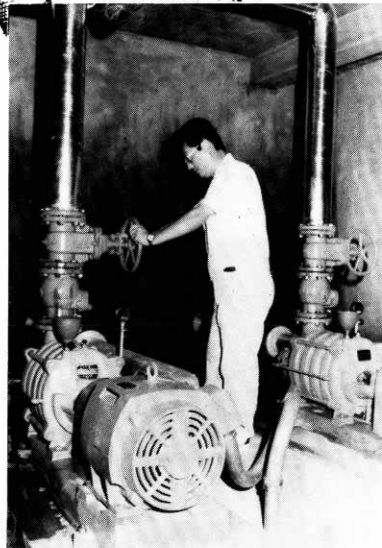


▲計器盤

▶水は豊富で給水制限の心配はありません



この施設は、国民年金還元
融資資金によるものです



◀送水ポンプ

▼消火活動に役立ちます



8月1日は「水の日」

水はわたしたちの暮らしに欠かせない
「生命の源」です。

限りある水資源を大切に使いましょう。

水管建設三億六千三百十二万四千円、消火栓設置千二百二十四万八千円、量水器購入千五百九十二万円、設計委託千七百万円、その他四千二百一十二万七千円となっています。

なお、この財源は一般財源一億千八百九十九万九千円、町債四億、千四百二十万円となっています。

異常気象で対策講演会

イモチは徹底して防除

水管理・倒伏にも注意

昨年は冷夏で、農家は大打撃を受けました。今年こそは、春から準備を進め万全を期しました。

しかし、今年も田植前後から低温つづきで、気温が回復したと思ったら梅雨前線が停滞し、断続的な長雨にたたられ、稲作、畑作は昨年より悪い状態となりました。

町では、異常気象対策指導班を設置し、対策に取り組んでいますが、七月二十日午後一時から役場三階大会議室で、県中央会技術対策室長・高橋正男氏を招いて「異常気象下における水稲と技術対策について」と題して二時間にわたって講演会を開催。百人余りの農業経営者および関係者は熱心に聞き入っていました。

講演の概要は次のとおりです。

太陽の黒点と異常気象

歴史をさかのぼると、大きな冷害は百年ごとには起きている。その間にも小さな冷害は、十年を周期として起っているようです。

これは、太陽の黒点に関係がありそう、太陽の活動が盛んになると黒点が多く異常気象になる。

一九八六年は、もっと強い異常気象となりそうです。

生育は一週間遅れ

昨年の天候と比較してみると、七月中旬以前は好天に恵まれまし

たが、中旬以降は東風による異常低温で被害を大きくしました。

今年は、五月の気温が平年に比べて五度から七度も低く、六、七月の長雨で生育は一週間遅れとなっています。

このままで推移すると、出穂時期は、早生で八月十日前後、中・晩生は十五日～十八日となる見込みです。

二十度以上なら豊作

今後の気温で稈り具合を予測してみると、平均気温が二十二度では豊作、二十度では平年作、十八

度では不作、十七度以下では凶作となるようです。しかし、日が照ると気温が二度高くなるので、病気の予防に加えて、低温からも守る必要があります。

参考のために、冷害に強い品種は、よねしろ、やや強いのは、レイメイ、フジミノリ、中間種は、アキヒカリ、アキユタカ、トヨニシキ、やや弱いのは、キヨニシキ、ササニシキ、あさあけ、となっています。

イモチは大敵

稲作は天候に左右されるものですが、どんなときでも秋の収穫をみるまではあきらめてはいけません。収量を増やすためには、イモチにかならないようにすることです。

低温では冷イモチが発生します。葉イモチは、今年の場合七月下旬から八月上旬頃に発生しそうです。イモチ菌は、湿度の高い夜中の二時頃に生まれ、葉の露に付着しやすい。天気が良いと葉の皮が丈夫で菌が入りにくいが、天気が悪いと葉の皮が弱いので中に入りやすい。

また、天候が不順だと葉に吸い

上げられたチツソが、生のまま残っているのは菌は培養されやすい。

首イモチには要注意

首イモチは、稲の悩卒中と言われるだけあって、収穫が皆無となる場合がある。首イモチは高温、雨、多湿の時に多く発生し、今年のように成長の遅れた年は発生しやすい。したがって事前の防除が大切だ。

一回目の散布は穂ばらみ時、二回目は穂ぞろい時、さらに危険な場合は穂かがみ時に散布すると効果があります。

どんなに長雨が続いてても、四、六時中降っているわけではないので、少しの雨間をみて散布すべきです。

兼業農家で、思うように散布できない人は、水面施用剤を使用すると便利です。

追肥

今年は、前半低温であつたので

土の中には、春の肥料が三きほど残っている。このままでは追肥の必要はないと思うが、葉の色が薄い時は、出穂の十日から十二日前（減数分裂期）の七月末から八月初めまで、反当りチツソ二きほど追肥するとよい。

水の管理も十分に

水の管理も手ぬきしてはいけません。天気の良い日は、ガスぬきのため三日サイクルで水を入れたり切ったりするとよい。減数分裂期に寒さがきたら深水にしてほしい。水口は、いつも同じではなく、変えるときさらに効果的です。

今後の長期天気予報では、強い冷害の心配はないと思うが、キタシンPを散布して稲の体を強くして、倒伏を防がなくてはなりません。

過去は、収量を高める攻の稲作でしたが、今年の作況では守りの稲作も研究しなければなりません。



農業委員会委員決まる

第2・第5選挙区で投票

＝坊沢・七座は88.4%の投票率＝



鷹巣町農業委員会委員一般選挙は七月十日告示、七月十七日に投票が行われましたが、第一選挙区(鷹巣・栄)と第三選挙区(綴子・第四選挙区(七日市)が無競争で、第二選挙区(沢口)と第五選挙区(坊沢・七座)は投票でそれぞれ決定しました。

なお、投票の行われた選挙区全体の投票率は八六・七四%でした。各選挙区の投票結果と、農業団体などの推せんで決定した農業委員は次のとおりです。

▼第二選挙区(沢口地区)
当四六〇 花田 久雄(57) 現
当四二四 本城 政市(34) 現
次三七八 佐藤 正美(48) 新
▼投票率八四・五%

▼第五選挙区(坊沢・七座地区)

当五二五 小笠原正一(56) 新
当五二二 佐藤 重光(38) 新
当三一七 永井 与蔵(54) 現
次二九八 戸嶋 鶴治(59) 現
▼投票率八八・四%

▼第一選挙区(鷹巣・栄地区)
松尾与一(60) 嶺脇新一(53)
第三選挙区(綴子地区)
佐藤昭二郎(53) 藤島米松(65) 佐藤甚一(44)

▼第四選挙区(七日市地区)
岩本進(48) 畠山資治郎(52)
選任による委員
▼議会清水修智(47) ▼農業共済 藤内勲(55) ▼鷹巣

全国少年少女囲碁大会出場

女性 豆棋士・百合子さん

このほど秋田市で開かれた第二回少年少女囲碁大会の小学生の部で、中央小学校四年生の吉良百合子さん(南鷹巣)が健闘し、県代表となりました。

大会では、三段を筆頭に有段者ぞろいの中学生三人、小学校六年生一人の計四人と対戦。冷静な読みで互角の対局を展開し、その実力が評価されて県代表となったものです。

百合子さんは、四段である父・弘勝さん(扇田営林署勤務)に、小学校二年の時から手ほどきを受け、毎日一局は対戦するという力の入れようで、めきめき頭角を現わし、いまでは初段の腕まえ。小学校四年でしかも女の子の初段は、県内ではじめてだそうです。

会長に三沢氏

改選後、初の農業委員会は七月二十一日午後十時から役場三階大会議室で開かれ、会長に三沢勇悦氏、会長職務代理者に佐藤昭二郎氏をそれぞれ選任しました。

農協 河田準一郎(58) ▼栄
農協 斎藤金逸(50) ▼沢口
農協 神成吉郎(65) ▼綴子
農協 三沢勇悦(54) ▼西部
農協 佐藤茂右エ門(70) ▼
七日市農協 佐藤禎司(40)

町長 日誌

7月1日～7月15日

2日 米代川治水期成同盟会並びに国道七号線拡幅改良促進期成同盟会合同通常総会 琴丘町

3日 米代川地域施設計画国有林野等所在市町村長有志協議会

6日 沢口林業センター起工式

8～10日 東日本地区地域林業振興検討会 秋田市ほか

10日 砂防協会秋田県支部理事会 秋田市

13日 秋田さきがけ政経懇話会 全国治水砂防協会秋田県支部通常総会 秋田市

14日 鷹巣地区防犯組合定期総会

15日 大館北秋公共事業促進協議会 議会総会

顔をほころばせながら語っていました。



細田先生の指導を受ける百合子さん

※収集日が祭日などと重なった時は、翌週になります。

地区	部落名	燃えるゴミ	燃えないゴミ
綴子	岩谷・二本杉・松原・向黒沢	毎週火曜日 (ただし第2火をのぞく)	(第2火曜日)
栄	李岱・田沢	毎週木曜日 (第2木をのぞく)	(第2木曜日)
沢口	坊山・四渡・湯の岱・湯車	毎週金曜日 (第2金をのぞく)	(第2金曜日)
七日市	与助岱・三の渡・黒森・松沢 明利又・上舟木・下舟木・吉 カ沢・深沢・吉野	毎週金曜日 (第2金をのぞく)	(第2金曜日)

町では、このほど環境衛生を守る立場から、ゴミの月一回収集区域を解消し、全町を週一回収集する

全町が週一回収集

ごみ収集日の変更



ることになりました。

八月一日より収集区域が拡大されますので、該当町内ではまちがいのないようにしてください。
ほかの地区は、従来どおりの収集となります。

みんなで守ろう ゴミの出し方

年々ゴミの量が増えていますが、町民のみなさんにご不便をかけないよう計画をたて、収集作業を行っています。

町では一般家庭の生活を営むうえで排出されるゴミを収集するもので、このことについては、多くのみなさんからご協力をいただいておりますが、一部の心もとなない者により、ゴミの出し方のルールが守られていないことがあります。身近かな環境を守り、収集作業の危険を防止し、能率を高めるため次のことはみんなで守りましょう。

▽庭木の枝、家屋解体、営業用ゴ

ミは直接埋立地へ。
▽ゴミはできるだけ自家処理し、ちゅう芥物は土にかえて肥料にしましょう。

ゴミ集積所へ出すときは

▽ちゅう芥物は、水をよくきること。

“手をつなぎ 広げていこう福祉の輪”をテーマに、秋田県視覚障害者祭鷹巣大会が七月四・五の両日、当町で開催され、視覚に障害をもつ人が七十六人と、福祉関係職員 ボランティアなど五十人が参加しました。

四日の午後五時半から開会式が始まり、県視覚協会の岸野新作さん(鷹巣町材木町)から、「今

県視覚障害者祭開



▽燃えるゴミ、燃えないゴミを区別すること。

▽スプレー類はクギで穴をあけて、刃物は危険のないよう包んで、「刃物」と朱書きして出すこと。

▽ゴミは、当日の朝八時まで出すこと。

年は国際障害者年にあたり、事業を盛大に考えましたが、目が不自由なので、行う事業にも限界があり、むしろレクリエーションを主体にした交流で親睦を深めたい」と、あいさつがありました。

開会式後、懇親会を兼ねた芸能祭が行われ、三味線やエレクトーン、ピアノの演奏や歌謡で、自慢の腕前とノドを披露。拍手とこっさいを浴びていました。また参加者は、一年ぶりの再会を喜び、盃を交しながら久しく懇談していました。

次の日は早朝、宿泊先の丸留旅館から北星ボウルまで、警察や交通指導隊、ライオンズクラブなどの指導で交通安全の訓練が行われました。

北星ボウルでは、全員によるパチンコ大会を開催。パチンコが初めてという人もいて、ていねいに台にさわりながら、感触をよくとっていました。また、なかには二台の機械を器用に操作、玉がここに山盛りになるほどプロ級の腕前を発揮した人もおり、目の不自由を感じさせませんでした。

パチンコの後は、A班がボーリング、B班は大野台ハイランドの散策を楽しみました。

おしらせ

農薬空中散布実施

鷹巣町農薬空中散布協議会では、次の日程でヘリコプターによる農薬空中散布を実施します。

▽8月15日 午前五時―西部一円

▽8月18日 午前五時―沢口一円
散布地内の青空駐車等は、絶対避けるようにしてください。誤って薬剤附着の場合は、直ちに水洗いをし、薬を落してください。

中央公園トリム コースで記録会

八月二日(日) 午前八時半より中央公園トリムランニングコースで記録大会が行われます。

コースは、二・四キロと四・六キロ。参加料は、小中高が百円、一般が二百円となっております。
申込みは、当日でも受付けます。

危険物取扱者 保安講習会

消防法の規定に基づき、危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者の保安講習会を、八月二十七日(木) 鷹巣町中央公民館で開きます。

講習時間は、午前九時五十分から午後四時三十分まで。

家庭婦人バレーボール大会 葛黒、堂ヶ岱、新田中・小田が優勝

町内婦人家庭バレーボール大会は、七月十二日午前九時から鷹巣体育館で行われ、手に汗にぎる好ゲームが展開され、かけつきただんなさんや子どもたちから声援がとび、館内をわかせました。

婦人の健康増進と交流をねらいに開催されたこの大会も、二十六回を重ね盛会になってきました。今大会は、町内から二十一チームが参加。三ブロックに分れて予選リーグ、決勝トーナメント法で行われました。

各チームとも、一カ月ほど練習を積み重ねただけあってレベルアップ、ラリーの応酬で実力伯仲の試合が多く見られました。

スタンドでは、子どもたちが「おかあさんがんばって」「ワン・ツー・ソール」と大声で応援。かたわらではおとうさんがこぶしを振りあげ、「ヨシシ、そこそこ」と選手の一挙一動に身をのり出して、アドバイスしていました。

Aブロックでは、葛黒が練習量も多く、基本プレーを試合に生か

して着実に得点し優勝。チームワークのよい藤株が準優勝しました。

Bブロックでは、ベテランが主体のオーソドックスなプレーで、執拗に食いさがる下町をふりきって堂ヶ岱が勝利をおさめました。

Cブロックでは、若さを結集しコンビネーションプレーが得点にむすびついた新田中・小田が、試合巧者の坊沢をくだして優勝を飾りました。

試合の結果は次のとおり
〔Aブロック〕

予選リーグ 葛黒・大堤 2-0 仲町 藤株 2-1 南鷹巣 南鷹巣 2-0 仲町 葛黒 2-0 七日市 七日市 2-0 栄

一回戦 藤株 2-0 七日市 葛黒 2-0 南鷹巣 準決勝 葛黒 2-0 藤株・大堤 藤株 2-0 栄

決勝 葛黒 2-0 藤株
〔Bブロック〕

予選リーグ 堂ヶ岱 2-0 旭町 下町 2-1 旭町 岩脇 2-0 緑ヶ丘 緑ヶ丘 2-0 伊勢町

一回戦 伊勢町 2-0 旭町 岩脇 2-0 緑ヶ丘 準決勝 堂ヶ岱 2-0 伊勢町 下町 2-0 岩脇

決勝 堂ヶ岱 2-1 下町
〔Cブロック〕

予選リーグ 坊沢 2-0 新田中・小田 北鷹巣 2-0 三部落 新田中・小田 2-0 三部落 竜森 2-0 舟場 舟場 2-1 今泉

一回戦 坊沢 2-0 北鷹巣 新田中・小田 2-0 竜森 準決勝 坊沢 2-0 今泉 新田中・小田 2-0 舟場

決勝 新田中・小田 2-1 坊沢

愛の鐘の時間が変更
夏休み期間中の7月23日から8月20日まで、愛の鐘およびサイレンの夕方の吹鳴時間が、午後6時に変更になっています。

愛の鐘が鳴ったら、家へ入りましょう。

受講ご希望の方は、八月一日から八月八日まで、鷹巣阿仁広域消防本部へ申請してください。くわしいことについても、同本部へお問い合わせください。

東京ミ二周遊券

鷹巣駅で発売

鷹巣駅では、安くて便利な「東京ミ二周遊券」を発売しています。

ミ二周遊券は：

☑ 都区内および千葉、成田、久里浜までの国鉄線は、何回でもご乗車できます。

☑ 急行列車の普通自由席なら、急行券なしでご利用できます。

☑ 鷹巣から東京往復（急行券を含む）切符より、千四百円お得な一万三千二百円で、通用期間も七日です。

※ 指定券は、ご乗車の一カ月前からお求めになれます。

「停電のおしらせ」

八月三日から十一日まで、次の地区が作業のため停電となります。

▽ 3日 南鷹巣（午前九時から正午まで）

▽ 5日 小田一通り（午前九時から正午まで）

▽ 6日 佐助岱（午前九時から正午まで）

▽ 11日 舟見町、舟場（午前九時から午後一時まで）

▽ 21日 前山（午前九時から午後一時まで）

▽ 26日 摩当（午前九時から正午まで）

公民館のくさき

◇地区館訪問

今年度から、各地区の公民館が独立したのを契機に、先般三日間にわたって、教育長、社教課長等の地区館訪問が行われました。地区館長、職員をまじえて、和やかな語り合いの中にも、独立した公民館として、力強く動き出している姿勢が感じられました。

主な話題は……

- 一、独立公民館として、地域における位置づけ
- 二、併設館としての使用方法
- 三、事業費と職員体制
- …等でした。教育委員会では、これらの問題を十分検討し、活動しやすい条件整備に力を入れる事になっています。

なお、この地区館訪問は、機会をみて随時計画し、相互理解の場にしたい意向です。

◇がんばる奨励員、地区相談員

このたび生涯教育奨励員、地区相談員の合同会議が行われました。活動事例を出し合いながら、日常



活動を大事に、これからも奨励、相談活動が続けることを誓い合いました。

なお、奨励員、相談員は、行政だけでは浸透しきれない、それぞれの地区で、民間指導者として住民の学習啓発および、奨励相談に応じってくれる方々です。

※奨励員(十名)

斎藤きせ子(太田)、畠田富士子(脇神)、川向妙子(新井見町)成田敦子(大町)、佐藤タマエ(坊沢相善)、泉雄次郎(米代町)奈良康一(大町)、戸沢イサオ(前山)、宮野雄治(駅前)、桜庭正悦(蟹沢)

※地区相談員(十名)

岩本進(岩脇、千葉正重(横瀬) 畠山堅逸(二本杉)、千葉義男(中屋敷)、桜庭角蔵(蟹沢) 永井永治(伊勢町)、布田トシ(品類)、三沢星子(大堤)、佐藤金治郎(坊山)、橋本孫蔵(明利又)

学級紹介

糠沢若妻学級

(五月会)

五月晴れのように、さわやかな十九名の若妻学級です。もっと会員が多かったのですが、昨年、若妻後期の会員が、別の学習グループを結成するために(造反ではなく、高年齢になったという事で)退会したので、会員は減りました。

この学級の特徴は、他のグループ、団体とのつながりを大切にしているということ。例えば、子ども会、青年会、婦人会、老人クラブ等との連携をとりながら、若妻会として何が協力できるか、してもらえるかの協力体制が出来ていることです。特に、子ども会とは密接で、親子花だんづくり、国道沿いの花いっぱい運動などを手がけています。そんな訳で、地域の中で若妻学級は、なくてはならない存在になっています。

また、近代女性として、恥かしいマナーを身につけようと、毎年一回は、直接レストランへ出て、洋食マナーの勉強をしています。新会員の中には、マナーだけに気をとられて、味の方は全然わかりませんでしたと、せっかくのごちそうを、お腹へのつめ込みに終止した事を嘆いている人もいました。もう一つの恒例行事は、年一回親子で大館少年自然の家へ研修に出かけることです。

会長 佐藤アヤ

郷土史年表

(36)

西暦	年号	事	項
一九〇六	明治三九	○四月、鷹巣小学校高等科に他町村からの入学志願者多く、選抜試験を実施 ○七日市小学校高等科有志五十二名、六月九日から往復三日がかりで小坂鉾山に修学旅行す ○九月一日 日露戦役終結についての御沙汰書が下賜され、その奉読式を挙行す(鷹巣小学校) ○太田尋常小学校が、出席率優良校として知事賞の優勝旗を受ける ○鷹巣在郷軍人団創立 ○十一月 第五回貴族院議員に河田与惣左衛門当選 ○葛黒小学校創立 ○七座小学校三学級となる。校舎が狭いため小笠原久太の蚕室を借りて第一学年児童を収容する - 唱歌、裁縫の科目を新たに加える ○四月一日 坊沢村に消防組を設置す ○四月四日 小森部落より七日市小学校へ通学の児童、二十名、沢口小学校に復帰す ○四月十五日、北秋田郡立准教員準備場と鷹巣小学校に設置す ○五月三日 栄村消防組を設置す ○九月 栄村外十一カ町村共有の摩当山株場持分分割を計画す ○九月二十日 七座小学校と黒沢小学校児童六十四名、郷土地理実地学習のため、鷹巣駅より汽車に乗り、二ツ井駅に下車、荷上場、小繋、麻生を経て帰校す ○十月十日 郡会議員に成田之後当選	
一九〇七	明治四〇		

(続く)



九島氏・森吉山シリーズ展、開く

広報たかのすにご協力いただいている九島寮二さんの個展が7月18日～20日まで中央公民館で開催されました。九島さんは一線美術会委員として、中央の画壇では、実力が高く評価されています。

森吉の四季やマタギの里を中心に、フィンランド、ブラジルの渡航作品など力作60点余が展示され、おとずれた多くの観覧者の目を楽しませていました。

住みよい郷土づくりと老人の生きがいを求めて、太田老人クラブ（会長 松尾市治氏）は、毎年地域の環境づくりに取り組んでいます。

長い梅雨の晴れ間に、墓地の清掃を行い、花壇にはマリーゴールドやサルビアなどが、丹念に植えられました。墓地はみちがえるようにきれいになり、地域の人達から感謝されています。

花壇づくりに精出す老人クラブ



陸上選手権で全員に認定書

7月18日、町陸上選手権大会が行われ、健脚に自信のある200人が参加しました。大会は、年代・種目別に記録へ挑戦するもので、20代の100mでは7人が11秒台でゴールになだれこみ、昨年の高校総体の再現。

参加者には、公認グラウンドでの記録が書きこまれた認定書が送られ喜ばれていました。

町村対抗リレーは、沢口Aが比内町をやぶり優勝。



銀座通商店会（会長 佐々木勲氏）では、7月10日「優良従業員表彰式」を中央公民館で行いました。

同商店会では、25年前から各店をささえる従業員の永年勤続を賛えて表彰するもので、15年勤続を最高に37人が表彰を受けました。

表彰の後は、パーティーで店舗対抗演芸大会やジャンケン大会を行い、なごやかな賑わいをみせていました。

銀座通で従業員を表彰



4,000円会費で 模擬結婚披露宴

綴子地区連合青年会



食べ残しの多い料理、あまり役にたたない引き出物、結婚披露宴は見栄を競って年々派手になっていく中で、経済的にきびしくなる次の世代を担う若者達は、自分たちの力に応じた宴のあり方を真剣に考えている。

会費制の手引き書作成

七月五日午後六時から、綴子集落基幹センターで開催された模擬結婚披露宴「幹夫くん、基子さんの結婚を祝う会」は、綴子連合青年会（村上幸義会長）が実行委員会をつくり創意ある実践であった。まず、合議しながら「会費制結婚披露宴の手引き書」を作っている。そして、ご祝儀の上昇、引き

出物の高額化、参席者の服装、会場の豪華、招待者の大量化、料理の豪華さなど現状の問題点を挙げ見栄、無駄、無理のない披露宴を推進してゆくとしている。

さらに主催、名称、運営のしくみ（実行委の構成、役割、仕事の実際）、会費の額、引き出物、プログラム作成の基本点などを述べている。

長持ち唄で入場 お色直しは二回

当日の会場には、青年会員とその親を主体に、綴子地区の部落自治会長、婦人会の役員など約百人がテーブルに就いた。古式豊かな長持ち唄とともに、青年会員が扮

する新郎・新婦が、消灯されたホールにちようちんを手にする半天姿の若者、仲人（綴子公民館長佐藤正氏夫妻）に導かれて入場、盛大な拍手に迎えられて中央前列の席についた。

実行委員会代表藤島一君の趣旨説明、媒酌人のあいさつに続いて祝辞には、鷹巣町中央公民館長崎久氏、下町自治会長藤島松氏、綴子農協婦人部副部長出川厚子氏がそれぞれ、この催しの意義であることを強調し、綴子連青の姿勢のよいことをたたえた。

祝宴に入って、職場長、恩師、友人代表などがエモアタつぷりのテーブルスピーチをし、お色直しは二回、綴子婦人会の貸衣装だびびたりで本ものそっくりの花嫁姿が美しい。

ドジョウすくいや、日本舞踊などがつぎつぎに出て、あつというまの二時間の祝宴であった。

料理は二千八百円

実際には六千円会費を想定し、当日は四千円会費で催された。

料理は二千八百円（焼魚・テンブラ・刺身・酢物・吸物・七・八人に一つの大きなオードブル）ビール・清酒・サイダーが各五本で申し分のない量、料理は町内三つの仕出し店から出されたもので価格差のない盛りつけであった。これに引き出物、印刷費などを入ると六千円会費で実行できるといふものである。

参会者の中には、自分の家でやるときにも、このように合理的な会費制の結婚披露宴をやりたいものだとの声が多く出ていた。

ふるさと 人物伝 ⑦

桐沢 嘉六

江戸中期

坊沢の長崎家（系譜不詳）に生まれ、家が貧しく、毎日柴刈りに出たが山に行かず、寺で和尚の教えを聞いていた。

二十歳の時、家を出て久保田（今の秋田市）の豪商、塩辛勘兵衛に仕えた。或る日、虫干しの際一冊の本を見つけ、開いてみると彫刻の秘伝が書いてある。これをふところに入れ、能代に行き彫刻に専念するようになったのが二十九歳の時であった。彼は武田人形というものを作



嘉六が設計に参加したという金沢城

っていたが或る時、小鶏（チャボ）の雌雄を彫刻し、店先に置き、籠をかぶせて米をまいたところ、あたかも生きているように見えた。たまたま一人の魚商がそれを見て「鳥や獣の眼は人と反対で、目をつむる時は、下瞼を上瞼に合わせるものなのに、この鳥は人と同じく、上瞼を下瞼に合わせている」と、笑った。彼は己れの未熟を恥じ、ますます発奮して技術をみがいた。

また或る時、彼は一室にとじこもり、家の人の出入りを禁じ、一人でノミをふるっていた。たまたま急用で外出した間に、妻は、「夫が何を作っているだろう」と、禁を破って部屋に入ってみると、一人の美女が立っている。嫉妬のあまりカッとなった彼女はオノをもつてたたきつけたところ、それは夫の彫刻作品とわかり声をあげて泣いた。帰宅した嘉六はその有様を見て長い間の苦心が一瞬の間に水泡に帰したが、これもまた天命であるとあきらめた。

嘉六はその後、尾張候に召され金沢城築城に貢献したが、完成すると、秘密が漏れることをおそれ秘かに暗殺されたという。嘉六の姓「桐沢」は長崎家の菩提寺である永安寺の山号「桐沢山」より出たものと伝えられている。生年、没年とも不明である。（資料「坊沢郷土誌」・「秋田県人名大辞典」）

（中央公民館長 長崎 久）



わたしのおじいさん

わたしのおじいさんは、ずっと足がわるくて入院していました。どうして足がわるくなったかきいたら、おじいさんが子どもの時、おとうさんの手つだいをしていた、トロッコで足をきったそうです。でもいまは元気です。けれども

南小学校3年
千葉明香

入院している時は、見ているととてもかわいそうでした。足がわるくても元気なおじいさんを、わたしは大好きです。

今 楽しい夏休みをむかえるようとしている

初めての中学校生活での体験

私の今の気持ち 休みたいなあ

初めての中間 期末テスト 生徒総会

でもその中で おどろいたり 教えられたり

ドキドキしたり

ただ無我無中で

いそがしく休む間もなくすごした毎日

四ヵ月間

少し大人ぶってみたい

小学生とたいして変わらないのに

今では すっかり中学生気ど

何も分らないで入学したのに

むしろ暑い毎日が続きもうすぐ夏休み

あれから早くも四ヵ月

初めて鷹中の門をくぐったあの日

夏をむかえて

鷹巣中学校一年 石川奈々子

たかのす文芸

みんなの広場



ときそう

花がもも色で美しい。
この色をも鳥のトキの羽に見たててこの名がある。

(理科教育センター 阿部達雄先生)

非行防止は

家庭から

北小路 小林信吾(42)



青少年の健全育成が叫ばれている今日、非行の波が

桜前線のごとく北上していると言われている。ある専門家の予測によれば、秋田県では県北部で一番先に発生するのではないかと言うことです。

そんな話を耳にする時、中学一年生を頭に三人の子を持つ親として他人事ではない、と思うのは自

分ばかりではないと思います。

いま小中高一斉に夏休みに入っておりますが、私達北小路スズラン会(町内会)では、子供達の健全育成の面からも会の行事に積極的に参加させ、子供達にもっと接して欲しいと、先日会長さんや役員の方々と話し合いを持ちました。「青少年の健全育成」を積極的に推進して行くには、教育関係は、いうまでもありません。

また各町内会地域社会を除いては出来るものではありませんが、何よりもその根本は各家庭にあり、とりわけ父母にあると思うのです。児童を持つ関係上PTA活動に参加させていただいておりますが、教育講演会などで聞く話の中で、どの先生方も一貫して主張してい

広報のしおり

すだれ 障子を取りはずし

いつべんに部屋の中が広くなり、すっかり夏らしくなるものです。

万葉集に、「君を待つと我が恋ひおれば我宿の簾動かし秋の風吹

る点があります。それは親がもつ

と目覚めなければならぬという事です。講師の先生方がどんな大

切な教えを話して下さいても、それが家庭で真に実践されなければ無意味に近いと思います。

朝起会に参加している妻は、常々「子供の善導は、親の倫理実践から」と口にします。本当にいい言葉だと思っております。

自分自身を反省し、生活態度を改めるべき所は改め、親子の信頼を深めなければなりません。小学

校児童生徒はもちろんです。特に親離れ時期に来ている子供を持

つ我々父母には、一層の努力が要求されると思います。親も子も、

学校も、意義ある夏休みであってほしいものです。

入院している時は、見ているととてもかわいそうでした。

足がわるくても元気なおじいさんを、わたしは大好きです。

く」と額田王が詠んでいるところをみると、奈良朝のころから使われていたといえるでしょう。枕草子にも「香炉峰の雪やいか」に」というくだりがあって、御簾(みす)を巻き上げて雪景色をお見せする場面が出てきますが、昔はやはり貴族の重要な家具であったのでしよう。

すだれは風を自由に通し、外部からの日光を防ぎ、暑さを防ぐ上でまことに大きな効果を発揮します。といっても平安のころは冬も使っていたわけですから、当時は一種のステータス(階級)シンボルであったのかもしれない。最近では、竹ひごを縦に、糸を横に組んだカーテン式もあります。

一線美術会委員 九島素二氏

八月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十二日と二十
六日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

むし歯予防と家族計画指導は、五日です。

時間は、午前十時から午後三時まで。対象者は満三歳児以上の幼児で、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

妊婦健康相談は、三日と十七日です。

時間、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、母乳
栄養と妊娠中毒について。

時間は、午前十時から十一時まで。
※場所は、いずれも鷹巣町中央公民館保健相談室です。

離乳食実習指導は、二十日〓五

十六年一月生まれとなっています。
受付時間は、午前九時半から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

乳児健康相談は、二十日ㄥ五十六年四月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで。

※場所は、いずれも鷹巣保健所で
す。

◇ ◇
一歳六ヵ月児健康診査は、六日
〓五十四年十二月、五十五年一月
生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで、鷹巣町中央公民館ホールで行いますので、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦（助産婦）による妊婦訪問を行います。

八月は、▽七日＝沢口・七日市
地区▽二十一日＝七座・坊沢地

区▽二十八日＝綴子地区となつています。

訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

結核検診が八月五日から九月二十五日までの期間、各地域で実施されます。

日程は、随時広報に掲載いたしますので、忘れずに受診してください。都合により、日程どおり受診できない方は、もよりの場所であ受けてください。検診料は、無料。

8月5日||明利又・羽立(明利又生活改善センター)、松沢(補導員宅前)、三ノ渡・黒森(三ノ

渡会館、与助岱(会館) 7日
 葛黒(会館)、大畑(会館)、

中畑（会館）、妹尾館（会館）
10日＝吉野（学園前）、岩脇（会

館)、横渕(会館)、七日市・根
木屋敷(基幹集落センター) 11

日Ⅱ上舟木（会館）、下舟木（会館）、吉ヶ沢・深沢（会館）、品

類(会館) 12日||中屋敷(会館)
脇神・上野(脇神会館)、藤株・

小摩当(藤株会館) 17日||小森
(会館)、四渡(会館)、坊山(

會館、湯ノ岱（會館）18日
堂ヶ岱（會館）、舟場（會館）
南鷹巢・高村岱（南鷹巢會館）

東京消防庁では、五十六年度の

消防官を募集しています。

受験資格は、昭和二十七年四月二日から昭和三十九年四月一日までに生まれた男子。

申し込み期間は、大学・短大卒が八月二十一日から二十六日まで、高校卒が九月十一日から十六日まで。

※受験手続きは、いずれも東京都千代田区大手町一丁目三番五号東京消防庁人事課（電話〇

三二二二二二二に申込書を請求のうえ、申し込み期間内に郵送してください。

くわしいことについても、同課へおたずねください。

手話サークル“みづたまり”では、八月二十二日（土）から十月三日（土）までの期間、七回にわたって初心者手話講習会を開きます。開催場所は鷹巣町中央公民館、受講料は無料です。

受講したい方は、当日会場で受け付けます。くわしいことを知りたい方は、山内みつ子（青山荘勤務・二二九九九〇）へお問い合わせください。

慶平たより

7月1日～7月15日

誕生おめでとうございます

長岐久美子（直介 二女） 七日市
武藤 悠（優悦 長女） 深 関

小笠原麻紀	政美	二女	綴子大畑
高橋久美子	実	三女	綴子上町
飯塚祥平	章喜	二男	南鷹巣
五代儀朋子	新一	長女	西横町
高坂麻美	喜美治	二女	前野
高橋居花	敬一	長女	摩当
相馬里子	誠一	二女	新旭町
成田安見	讓	長女	東横町
野呂幸希	忠孝	長男	前山
津谷亮太	和弘	長男	糠沢
佐藤惠美	務	二女	前野
中嶋友紀	四郎司	長女	西仲通
畠山朋子	吉秋	二女	大堤
花下智也	信夫	三男	南鷹巣
長千晶	俊光	二男	前野

二人の前途を祝福いたします

今川秀子	石川秋三郎	成田睦子	原田勝則	宮野明美	村松健一	中嶋栄子	米森康保	佐藤合子	佐藤睦子	糸井幹雄	工藤八重子	山本政俊	桂本紀子	照内喜代美
糠沢	上小阿仁村	田中	二ツ井町	栄町	山形県	末広町	新田中	糠沢	あげぼ	西旭町	新田中	坊山	新旭町	掛泥

おくやみ申しあげます

小塚	誠市	(71歳)	堂ヶ岱
高橋	クニ	(73歳)	綴子上町
太田	市郎	(80歳)	糠沢